

たいむ

9月号 [H27.9.2発行]

夏が終わり、たいむに遊びに来てくれる子どもたちの肌がとても良い色に日焼けをされていて、楽しいお休みを過ごしたのだなと感じます。

これから少しずつ涼しくなり体調が崩れやすくなってくるかと思いますが、体調に気をつけ、たいむでも元気に遊びましょう！

10月より、石井ゼミの学生による学生広場が再スタートします！

昨年度、10月～2月の間に行った学生主催広場「あ・そ・BU」が今年度10月より再開予定です。詳細は来月のおたよりにてお知らせいたしますが、月に2～3回開催する予定です。開催曜日は火曜日となります。

それに伴って、10月より、水曜日を通常 OPEN の曜日に、火曜日を「まいぺえす・まいすぺえす」（スタッフのいない広場）他にする予定です。詳しくは来月以降の予定表にてご確認ください。どうぞよろしく願いいたします。



◆学生主催広場の目的

千葉明德短期大学の学生が、ゼミ活動の一環として行う広場です。学生自身が企画を立て、準備し、実践することを通して、保育者や社会人となってから必要となる力を培うために行う地域の親子向けの広場です。通常のたいむのスタッフが関わらないことで、実習のような“従属的”な現場

体験ではなく、自らが責任と主体性を持った現場体験とすることも目的の1つです。さらに、仲間との共同作業を通して、協調性や協同性を培うことを目的とします。

企画は、学生がオープンの準備から、たいむの開室時間が終了した後も、そうじや反省会を行い、17:00までの活動となります。



■バーベキューたいむ！■



8月4日(火) 昼の部・8月22日(土) 夜の部の計2回、短大の中庭にてバーベキューをしました。

1回目の4日(火)は昼間ということもあり、子どもたちは水・砂場・ブランコと元気に遊んでいました。小学生は隣の畑に作物の様子を見に行き、ほおずきをみつけて嬉しそうに見せてくれました。たくさん身体を動かして遊んだのでお腹もペコペコになったのか、用意していたご飯は子どもたちが何度もおかわりをして食べてくれました。お母さん方は「何か手伝うことはありますか？」などスタッフに声をかけてくださり、会話を楽しみながら交代でお肉を焼いてくださいました。お母



さん方が手際よく焼いてくれた美味しいお肉や野菜を、今度は子どもたちが「お肉と野菜が焼けましたよー」と元気な声で配っていました。また、小学生のお兄さん・お姉さんはお母さんと一緒にお肉を焼くことにも挑戦し「煙いよー」「顔が熱い」などと言いながらも頑張ってお肉を焼いてくれました。どの場面も微笑まし光景でした。



バーベキューが終わりに近づいた頃、2年生のH君が「ティピ（アメリカインディアンの家）」という麻で作ったテントを立てて、子どもたちを招待してくれました。秘密基地のようなテントに「うわーすごいね！」と子どもたちは喜び、小さな身体を寄せ合っておしゃべりを楽しんでいました。これはH君の手作りで、生地の手柄も自分で描いたそうです。とても綺麗な仕上がりでした。

楽しい時間はあっという間で、片付けの時にはお母さん・子ども皆で洗い物やゴミのチェックをしてくださり、とてもスムーズに終わることができました。

2回目は22日（土）の17:30から行いました。この日は2才児から高校生のお姉さんまで年齢も幅広く、とても賑やかでした。中学2年生のお姉さんは、「幼稚園の先生になりたい」という夢があり、時々たいむに遊びに来てくれています。いつもは恥ずかしそうにしていますが、この日はスタッフや教員（石井）とも打ち解け、高校生の姉やお母さんと焼き係りをしてくださいました。また、今回は土曜日の夜ということで、お父さん方はほんのりお酒を楽しみながら子どもたちと遊び、笑い声が止みませんでした。

終盤になってきた頃、大きな花火の音が「ドーンドーン」と鳴り始めたので遠くの空を見てみると大きな打ち上げ花火が上がり、「バーベキューをしながら花火が見れるなんて嬉しいね」と、みんなではばらくの間打ち上げ花火を眺めました。大きな花火の後は子どもたちと手持ち花火をしました。火を怖がる子はおらず、大人が見守るなか自分で火を付ける子・大人と一緒に火を付ける子・たくさん花火を持つ子と様々でしたが、子どもたちの表情はとても楽しそうで、良い笑顔でした。

今年はバーベキューを2回行いましたが、昼・夜それぞれの良さがあり、楽しい時間が過ごせました。特に2回目は、いつものたいむの雰囲気ではなく夜ということで、子どもたちの気分も違ったようです。セミの抜け殻探し・花火など夏の遊びも出来たので、夏休みの思い出の一つになっていたら良いなと思います。（本田）



■2回目の流しそうめんでは・・・？■

たいむの夏休み前、8月7日（金）に2回目の流しそうめんを行いました。

1回目はたくさんの方が参加してくれたので、麺やゼリーを流しても下の方までなかなか流れないくらいに盛り上がりました。

2回目は1回目よりも人数が少なかったのですが、13組38名が参加してくれました。子どもたちからは、「麺よりもゼリーとフルーツを流してほしい」という可愛らしいリクエストも聞こえてきましたが、素麺もたくさん食べてくれました。自分で頑張って取ったものは更に美味しいでしょうね。今回も、人気のあったゼリー・フルーツは麺よりも先に無くなってしまいました。お腹がいっぱいになったら、ブランコやプールで元気に遊んでいました。

前回スタッフの手伝いをしてくれた小学3年生のYちゃんが今回も手伝ってくれ、竹の途中から麺やフルーツ・ゼリーを流してくれました。また、お姉ちゃんの様子を見ていた年中の妹のMちゃんは、「私もやりたい」とのことで一緒に手伝ってくれました。もちろん、お母さん方もスタッフに声をかけてくださり、合間や最後の片付けなど皆さんで協力して行ってくださいました。

普段、たいむではイベントをあまり行いません。だからこそ、季節を感じることのできる行事はスタッフ側から開催し、皆で一緒に楽しめたらいいなと思っています。（本田）



■子どもたちって すごい！■



8月4日（火）のバーベキューにて。

ティピの周りのたくさんの木にはセミの抜け殻があり、子どもたちは抜け殻探しに夢中になっていました。たくさん集めた抜け殻をお母さんやスタッフに嬉しそうに見せる子・ダンゴムシを探す子と遊びも様々でした。そんななか、小学2年生のSくんは自分の手のひらに乗せた抜け殻を静かにティピに飾りつけていました。それを近くで見ている教員が「子どもって本当にすごいよね。何にも遊ぶ物がなくても、こうやって自然の物を見つけて遊ぶ

ことができるのだからね。」と笑っていました。確かにその通りですよ。教員の言葉にとっても納得しました。また、初めて会った子ども同士がお互いの名前を呼び合いみんなで鬼ごっこをしたり、学生や教員に「高い所にあるセミの抜け殻をとってください」とリクエストなどをする微笑ましいやりとりが見られました。



大人も子どもも人とかかわることで沢山のことを学んでいるのですよね。遊びのルールもそうですが、順番・交代など、人とかかわらなかつたら学ぶことは難しいと思います。普段何気なく過ごしていると気が付かないことが沢山ありますね。そして、子どもの発想や順応性は本当にすごいなと改めて感じました。(本田)

■コマの先生、Sさん！■



コマが回せないスタッフ本田…。お母さんのSさんにコマの回し方を教えていただき、初めて成功しました！ 自分でも出来たというのは、大人になってもとても嬉しいものですね。そんな賑やかな大人たちの様子を見ていた、Sさんのお子さん2人も挑戦しました。なかなか上手く回せず難しい様子でしたが、お母さんと一緒に遊んでいるのでとても楽しそうでした。

いろいろなことに挑戦するのは大切ですね。私もコマの練習をして、子どもたちに教えてあげたいです。Sさん、ありがとうございました。(本田)

■新コーナーのご紹介■



みなさんのおすすめのお店を教えてください！

(カフェ・美味しいお店など)

もうすぐ食欲の秋ということで、食いしん坊の私は廊下にこんなコーナーを設けてみました。

みなさんのおすすめのお店などを、たいむのお母さんやスタッフと情報交換をしてみませんか？「こんなお店があるんだね」「このお店気になっていたんだよね」「ちょっと家族で行ってみようかな」など話の種に・ちょっとしたお出かけの参考に…。ちなみにスタッフのおすすめも貼らせていただきました。(お気に入りのジェラート屋さんとパンケーキ屋さん) ぜひご覧ください！

※お店などを教えてください方は、付箋を用意してありますのでご自由にお書きください。

(お店の名前・おすすめポイントなど) 記入を終えたら、地図の周りの空いているスペースに付箋を貼ってください。スタッフもお手伝いいたしますのでご安心くださいね。

千葉明德短期大学 育ちあいのひろば たいむ

【住所】〒260-8685 千葉市中央区南生実町1412 【短大代表番号】043(265)1613

【たいむ・おやこのじかん TEL】 043(332)2103 【E-mail】oyako@chibameitoku.ac.jp

【HP】<http://www.chibameitoku.ac.jp/tandai/hotstation/hotstation.html>

【facebook page】<https://www.facebook.com/hottostationtime>
